

新年のごあいさつ

交流・連携・協働で
挑戦するまちづくり

穏やかな新春を迎え、皆さまにおかれましては健康にお過ごしのことと心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、わが国の今後を決める大きな節目の年であったかと存じます。TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が交渉妥結となり、また、安全保障関連法案が国会にて可決されました。国内では、将来にわたって活力ある地域を維持するため、一昨年閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」がスタートしたことをうけ、本市においても昨年10月に「中野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、元氣な中野市づくりの緒に就いたところであり

ます。
また身近なところでは、北陸新幹線飯山駅が開業し、高速道路に加え、北信

地域に高速鉄道交通が充実し、地域のポテンシャルは一段の加速をみました。このような大きな変化のなかで、本市は合併10周年を迎え、来るべき将来の中野市づくりに邁進すべく決意を新たに致した次第です。

さて、これからの地域づくりの基本は、総合戦略の指針にみることであります。

地方創生では、地方の自立に資するため、外部人材の活用や人づくりにつながる施策や、地方が主体となった、夢のある前向きな取り組みなど、地域の持続可能な施策を重視し、地方へのひと・しごとの移転・創出、プロセスよりも結果を重視するといった策定指針といえるものが示されています。また、目指すべき成果が具体的に想定され、検証等が施策展開に求められており、人財の育成、確保、そして主体的な行動を求めていると思います。こうした動きは、変化変容の

激しさが予想されるこれからの地域社会において強く要請されています。

これまでも私は、交流・連携・協働による地域づくりを提唱してきましたが、市民が一つになつて、交流・連携・協働を基本に、将来のあるべき姿を共有し、人が集い、営み、安心して暮らせる魅力あふれるまちづくりに挑戦する中野市にしたいと思っております。

新春に臨み、本年が皆さまにとりまして幸溢れ実り多き年となりますことを祈念し、新年のごあいさつと致します。

中野市長 池田 茂



特集

子ども議会

～私たちが考えるより良い中野市の将来～

昨年11月19日、市役所議場において「子ども議会」を開催しました。
子ども議会は、中野市の将来を担う子どもたちに、市政を身近に感じてもらうとともに、まちづくりに進んで参加する意欲を育てるため開催しています。

本年度は、日野小学校、延徳小学校、豊井小学校および永田小学校の6年生、計78人が4グループに分かれて参加し、議員となった12人の皆さんが質問・提案を行いました。

日野小学校 6年生の皆さん



議長
池田虹乃さん（日野小）



議長
竹内蒼依さん（延徳小）



延徳小学校 6年生の皆さん



豊井小学校 6年生の皆さん



議長
関 蒼真さん（豊井小）



議長
市川凌汰朗さん（永田小）



永田小学校 6年生の皆さん

